

「壬生町論語検定支援目録贈呈式開催」

〈地区補助金事業〉

日時:令和3年3月7日(日) 9:00~

場所:壬生町城址公園ホール

1. 実施概要

主催:壬生論語検定実施委員会

共催:壬生町教育委員会

協賛:壬生ロータリークラブ

受検者:小学校2年生~中学校3年生(希望者)

2. 目録贈呈式

壬生ロータリークラブから壬生論語検定実施委員会へ目録が贈呈されました。

目録内容:壬生論語検定料 一式 論語十八章句掛図 一式

3. 出席者:刀川清満幹事、松本幸三会員、中山博文会員(当クラブから3名)

:田村幸一様(壬生町教育長)、鳥居忠明様(鳥居宗家)

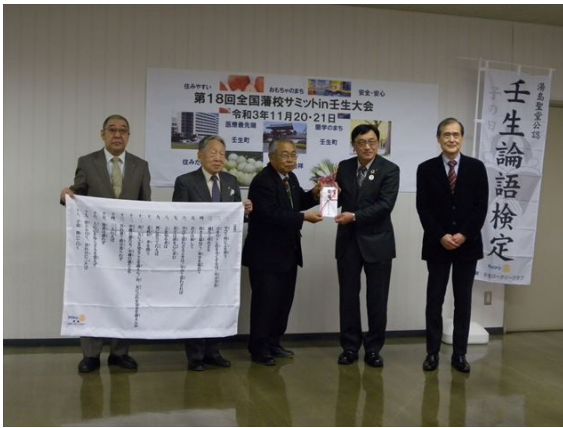
4. 試験開始(10:00)

本日は、壬生中学生と南犬飼中学生の31名が壬生町城址公園ホールにて受験しました。内容は「寺子屋編3級(論語初級)」壬生論語古義抄の15編の中から5編出題し、3編以上よどみなく朗読できれば合格。「寺子屋編2級(論語中級)」壬生論語古義抄の18編の中から8編出題し、5編以上よどみなく朗読できれば合格。「世界記録チャレンジコース(論語上級)」18編の中から18編を順によどみなく朗読できれば合格です。

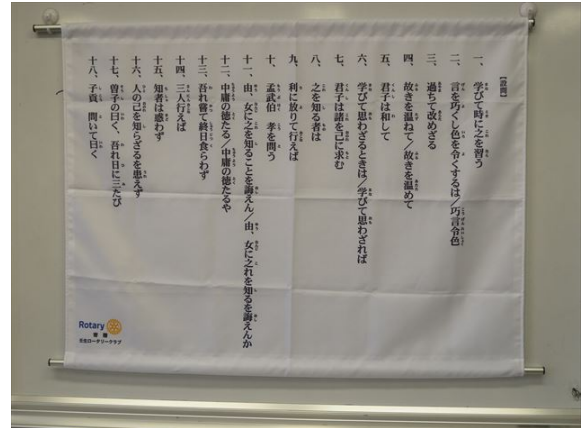
中学生は、すべて中級と上級の試験となりました。中級は、壬生ロータリークラブが贈呈した「論語18章句掛図」を見ての出題で、生徒たちはスラスラとよどみなく朗読しておりました。上級は、何も見ずに1編から18編をよどみなく朗読しており、さすが中学生は素晴らしかったです。(平成21年度より町内全小学校で論語教育が開始され、現在の中学生は小学校からの論語教育の賜物でしょう。)

会場の入り口や各試験会場などには、消毒液を設置し、また精密な体温測定機などを受付に設置して、厳重に新型コロナウイルス感染防止対策を実施しておりました。下野新聞社が取材にきており、目録贈呈式の様子なども写真撮影されておりました。

今年度の「壬生論語検定」は、2月15日(月)から始まり、3月18日(木)迄の1ヶ月の実施となります。小学生は、各学校(受験生)と城址公園ホール(試験官)をインターネットで接続して「オンライン試験」をすることになり、今回の「壬生論語検定」の試験会場は、各小学校と城址公園ホールでの9か所で開催されることになりました。今年度の受験生は、227名の予定だそうです。



論語検定支援目録贈呈式



論語 18 章句掛図



体温測定機



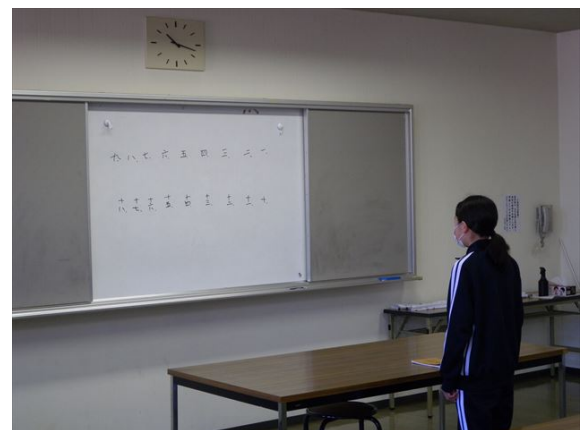
受付



受験生控室



寺子屋編2級(論語中級)



世界記録チャレンジコース(論語上級)

3月 水と衛生月間

3月 10日(水)	オンライン例会 会員卓話(奈良部会員)	理事会	各自宅・事務所
14日(日)	古澤丈作記念碑清掃 午前10時より		栃木駅公園
17日(水)	休会		
24日(水)	休会		
27日(土)	移動例会(1・2・3月誕生家族会)		会場未定
31日(水)	休会		

***新型コロナウイルス感染拡大の影響により今後の活動も流動的になります。**